

社会福祉法人 平和の里福祉会
あおぞらっ子保育園

令和8年3月31日

令和7年度 園の自己評価

「保育所保育指針」の第4章・保育の計画及び評価に保育士等と保育所の自己評価が努力義務とされています。

「保育所は、保育士の質の向上」を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」

そこで、あおぞらっ子保育園では、保育士、子育て支援員、保育補助、給食職員、主任保育士、園長の評価も加えて、自らの評価を行い、客観的に見て次の保育に繋げていきます。

○評価 _____ 次の基準によって評価欄に 3、2、1、と記入する。

3・・・おおむね達成できている

2・・・具体的に実施しているが成果が来ていない

1・・・実施していない、成果も出ていない

令和7年度は、4月1日時点、職員25名、園児80のスタートでした。3歳児に1名、と4歳児に1名、5歳児に3名、特別支援児を受け入れ、その他のクラスも補助職員を配置し、保育活動がスムーズにいくよう配慮しました。

園行事では、保育参観、うんどう会、おゆうぎ会、あおぞらっ子まつり、福祉バスでの遠足を3回行いました。

ハロウィンでは沖縄市役所、デイサービス、くすぬち平和文化館、コザ信用金庫さんと交流できました。

園独自の活動では、毎年続けている4歳児のうちなーぐち劇を、6年度は「うちなー子ども民舞大会」、5歳児の阿麻和利の演舞を披露しました。

普段の活動は、地域の資源である、市内近隣の公園、小学校施設、団地の菜園等を利用し、植物観察を楽しみました。

文化的資源としては、私立図書館のお話キャラバン、移動図書館、當間照子のお話会、こどもの国、沖縄市役所を利用しました。

各クラス、年齢にあわせたリトミックや運動あそび、歌、おゆうぎを楽しんでいます。子どもたちの元気さと、保護者の協力を得ながら大過なく過ごせた一年でした。ありがとうございました。年間を通しての、全職員が行った自己評価を元に園の評価をおこないました。

1. 保育の理念・保育観

評価

- ①職員一人ひとりがおおぞらっ子保育園の理念や目的に (3)
そって子どもが体験し、自己肯定感を高められるように
取り組んでいる。
- ②保育士一人ひとりが自己評価を行い、向上心を持って (3)
取り組んでいる。
- ③全ての子どもについて、その存在と人権を尊重している (3)
- ④児童福祉法の理念に基づいて、子どもの生活と健全な発達 (3)
を保証することが園の重要な使命であると理解している。
- ⑤今日の保育園は入所児童以外にも地域の子育て支援や卒園 (3)
後も相談や支援の役割があることを意識している。
- ⑥障害を持つ子ども持たない子ども、ありのままの姿を受け止め (3)
健やかな成長を願って保育している。
- ⑦保育園の保育が子どもたちの生涯の基礎を培う大切な役割 (3)
を担っていると認識している。

2. 保育計画・指導計画

- ① 保育指針のねらい及び内容が、達成できるような保育過 (3)
程や保育計画になっている。
- ②保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の (3)
対象の実態を把握し月・週・日案を作成している。
- ③ 子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような (3)
環境構成が十分工夫されている。
- ④ 職員間で「子ども理解」を深め、お互いの考えを十分理解 (3)
して保育している。
- ⑤ 月・週・日案などが実際の子どもの姿、関心にあっていた (3)
か、という点から自分の保育を評価・反省している。
- ⑥食について保育士と給食従事者が、意見交換の場を持ち連携 (3)
して食育活動をしている。
- ⑦ 献立に旬の食材を取り入れほぼ100%手作りをしている (3)

3. 保育園の職員構成・役割分担・研修

- ①園長や主任の園務分掌がはっきりと分かれていて、それぞれ (3)
の仕事を担当をもって行っている。
- ②豊かな集団の育成を目指したクラス運営が進められ各クラス (3)
の連携が円滑に行われている。

- ③ 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制である。 (3)
- ④ 園内外の研修は。計画的に実施されている。 (3)
- ⑤ 保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決する為、研修参加や専門書で自己研鑽している。 (3)

4. 事務管理・運用

- ① 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している。 (3)
- ② 職員に、園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。 (3)
- ② 帳簿類は適切に記載し、整理保管している。 (3)
- ③ 定期的（毎日）に施設整備・遊具等の安全点検を行っている (3)
- ④ 園運営が円滑に行われるように適切に予算執行している (3)

5. 開かれた保育園

- ① 小学校や幼稚園と連携し、交流する機会をもっている (3)
- ② 老人ホーム、デイサービスを訪問し、お年寄りや園児のふれあいの場を大切にしている。 (3)
- ③ 子ども自身の心身の発達や育児不安について、気軽に相談出来るように育児相談や専門機関との連携を取っている (3)
- ④ 園生活の子どもの様子を保護者や地域社会に積極的に伝えられている。 (3)

6. その他

今後も全職員で、お子様の安全を守るように努めます。

所在地	沖縄市安慶田1-29-33
電話	098-939-3090
設置者	社会福祉法人 平和の里福祉会
定員	80名
開所時間	午前7時30分～午後6時30分
延長時間	午後6時31分～7時
休園日	日・祝日・慰霊の日・年末年始